

宝木地区公民館だより



10月26・27日(土・日)《宝木地区文化祭》開催

文化祭芸能発表出演

宝木詩吟同好会

私たち詩吟同好会は、宝木地区公民館さんの呼びかけで平成18年に発足しました。

当初は、漢詩を読むのも大変でしたが、今では漢詩の奥の深さと詩吟の独特の節にのめり込んでいます。稽古日は、腹の底から大きな声を出し、仲間との楽しいお喋りにストリスを発散しています。

文化祭出演も、詩吟の中に歌謡曲、民謡、童謡などを取り入れ、楽しみながら、毎年参加させて頂いています。

文化祭の度に、公民館職員さんのお心遣い、細かい打ち合せ等、又、実行委員の方々の親切丁寧な対応に、心から感謝して楽しく出演しています。

今後も、公民館、地区の人々にお世話になりながら、少しでも上達して、出演させて頂きたいと思っています。

文化祭作品出展

書道サークル

10名の会員が、日本教育書道研究会が発行する月刊誌、「書の教室」の課題を中心に、小宮先生の指導をうけながら毎月3回公民館で練習してきました。

文化祭には、その作品を中心に、自分の希望するものに加え出品させて頂きました。

軸装、額装の作品が多く、女性ばかりですので展示に少し苦労しましたが、皆様のご協力をいただきながら出来ました。大変感謝しております。

今月の課題に「筆硯得佳友」の漢字があります。筆と硯すなわち塵外によき友を得たという意味だそうです。

会員が楽しく練習をし、来年も少しは上達できたかなとみていただけるよう頑張ります。

11月10日
宝木地区健康ウォーク
(水尻池一周・板井神社コース)
Sさん

11月10日の宝木地区健康ウォークに参加しました。

毎週土曜日に4km歩くように心がけていますが、いつもより距離も長く約6.5kmのコースは少し不安もありましたが、準備体操を行い宝木地区公民館を出発しました。



宝木坂から板井神社へ向かう途中でむかごを探りながら楽しく歩きました。
板井神社に到着し境内に入

ると神々しい雰囲気です。気持ちを引き締まります。

休憩した後、歩き始めたところコース沿いの庭にある菊花や立派な野菜をみせていただくことができましたし、吉船商店には懐かしい「ハウスカレー」の看板等、普段の生活では知ることのないところを歩き、地域の歴史や景色を楽しみながらスタート地点に戻りました。

毎年コースを変えながら開催されていますので、健康維持のため来年も参加させていただきます。

11月23日
生姜効果を再認識(生姜料理教室)

田村 恭子

日常的によく使う生姜。効果を知っている様で、果たして正しく食生活に取り入れているのか？

今回、料理教室に参加して、今まで曖昧だった私の認識も少しくクリアになり、とてもた

めになるひと時でした。調理実習では、ご飯、炒め物、スープを作り、先生ご持参の佃煮とお茶とを併せて、生姜づくし料理を頂きました。食事中から体がポカポカしてきて、凄く熱量が上がってくるのを感じました。



薬膳学習は内容盛り沢山で、特に干し野菜の栄養価は、生姜の場合、蒸して干すとさらに効果アップするとの事。それはちょっとした事の様で、B i g情報でした。

参加者の皆さんから、薬膳の事をもっと知りたいと学習の機会を望む声も上がり、心

も体もやる気満々で、有意義な教室となりました。

12月17日
初めての注連縄作り

吉村 文夫

地区公民館で行われた注連縄作り(なわ)に初めて参加しました。指導者の方の所作を真似ながら、手と足と頭をフル回転させるも、うまく出来ません。先ず縄が揃え(な)ません、両手のひらで藁を挟む(よ)もすぐに縊(よ)りかもどってしまいます。



どうにか完成しましたが、

とても玄関に飾るには気が引けるので、今年は目立たない所に付けました。
藁に申し訳ない納めの年となりました。

11月8日

すごいぞ 青谷

山根 哲博

文化教室。ガイドは同級生の河根君だ。

まず夏泊神社、海のほうが魅力的だ、説明が耳に入っていない。

郷土館、こんなもんだ。遺跡館でびっくり！人体の脳みそ、骨でDNA鑑定？人種の確定、時代の確定が解き明かされるすごいことだ。

かちべ伝承館で昼飯、これがまた旨い。

不動滝、湯原滝、妙円滝に上がるも悪くない。帰りにアケビ見つけ、取りに行っちゃった、自然もすごい。

子守神社、結構神秘的、銀杏の木のでかさ高さ50m弱

胴回り10m弱でかいぞ。



時間があつたので建山神社に。狛犬が変わってる。右にあ像、左にうん像で「阿吽」なのだ。石工川積尾崎六郎、川六(通称)作だ。こここの石段、斜度がすごい。171段見上げるだけで頭がぐらつく。石段の左右には樹齢三百年以上高さ40m胴回り5.5mの杉の木がカッチョイー。

終わってみれば、宝木から20キロ以内でこんな濃い旅は初めてだ、河根君の知識にも脱帽だ。こんな近くにこんなステキな所があるなんて、皆さんも試してみたら？
すごいぞ青谷。

じげ自慢

安岡 廣

下光元部落三つの自慢をいたします。

一つ目、持木村に古くから祭祀されてきた観音堂は、厚い信仰を集め旧正月十八日には、朝早くから列が続き、賑やかだった。現在はこの日に近い日



曜日の縁日に
行って
います。
以前は
閉野や
洞谷の
人も団
体で参
詣されて
いたこと
です。
読経供養
後、吉凶
占いが行
われる。
内容は、
本年の吉
凶、日本
と当部落
の運勢、
早稲、
晩稲、大
豆、小豆
等、地元
の世話人
が籤をひ
く。これ
が意

外と当たるのです。後で墨書して堂の前に張り出す。明治の頃、版木を使い現在も観音堂にそのまま保存されている。



二つ目、浜村駅前の「貝と少年」「奥村元治翁」の像は、下光元出身の彫刻家、北村隆博氏の作品である。

スペインに三回留学し、日本の平面教育を反省し、奥行のある球のような教育こそ必要であり、十人十色を再認識することだ、と言っている。

三つ目、ツツジの名所九重山に勝るとも劣らない、鳥取市指定の天然記念物である霧島ツツジや、宝木地区唯一の癒しの温泉も、下光元なので

わくわく 旧正月大会

1月25日(土)。杵と臼を使って、昔ながらの餅つきをしたり、コマ作りをして昔遊びをしたり、色々なことを学びながら、旧正月の日をみんなで楽しく過ごしました。



もち米をセイロへ



わくわく旧正月 岩佐一光軍

もちつきのきねが重かたけどがんばってもちつきをして楽しかったです。

できあがったおもちをきなこでクマ食べました。つきたてのおもちはとてもおいしかったです。

3枚のおり紙で作ったコマを家に持って

帰ってみんなで回して遊びました。



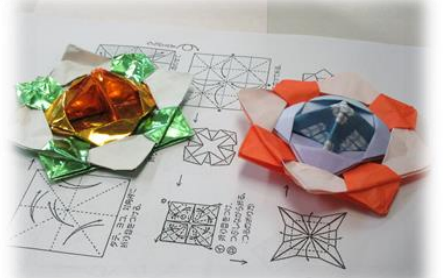
きね
重い杵を持ち、みんなで交代しながらお餅つきをしました！



旧正月大会に参加して福井渾人ぼくは、もち米をむしてま、ている間にいじめとさんにおしえてもらって、ありがみでコマを作りました。きれいに回りました。いよいよもちつきをしました。もちを丸めてあんこときなこをつけて食べました。自分で作ったおちは、おいしかったです。また、やりたいです。



3色の折り紙を使って、コマを作りました。3つを組み合わせたら完成！



旧正月に参加して5年(安藤樹莉)わたしが、がんばったところは、おり紙できれいにおることです。ぐちゃぐちゃになたりしたけど、できました。おちは、おいしくできてよかったです。来年もやりたいです。



編集後記
下期公民館だよりが出
来上がりしました。発行する
にあたり原稿を寄せて頂
いた皆様、事業に参加して
頂いた皆様ありがとうございます。
来年度も、公民館事業への
多数のご参加をお待ち
しております。